

授業科目 NO. 215 臨床栄養学

Clinical Nutrition Science

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1単位（15時間）

開講年次・学期：2年次・前期

必修・選択の別：必修

キーワード：食事摂取基準、入院時栄養管理計画書、栄養ケアプロセス、NST

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

個人または集団の健康の維持・増進のための食および傷病者の病態や栄養状態の適切な食事療法・栄養補給法を理解し、臨床症候の栄養アセスメント、栄養ケアプランを作成し、実施、再評価に関する臨床栄養管理の基礎知識を修得する。

医療機関での栄養管理と食事管理についての業務の運用を学び、看護専門職としての栄養部門を理解し、さらに病院から地域、生活の場での食に関わる多職種連携及び食支援を学ぶ。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 栄養・ケアマネジメントの意義およびそのプロセスを説明できる。(②)
- (2) ライフステージにおける食事摂取基準の特徴および望ましい食生活を理解し、説明できる。(②)
- (3) 食事療法・栄養補給法の基礎的知識を理解し、説明できる。(②)
- (4) 個人または集団の健康の維持・増進あるいは患者の治療において、生活の基盤となる食の支援方法を看護専門職の立場で理解し説明できる。(②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	80%
実習成績	%
レポート	20%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：櫻井 千佳

非常勤講師 櫻井 千佳

6 教育担当者の実務経験

担当教員は医療機関における実務経験を有している。

7 教科書

系統看護学講座 専門分野 栄養学 中村丁次 他（医学書院）

8 推薦参考書

- 1) 日本人の食事摂取基準 2025 年版（第一出版）
- 2) 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 中村丁次 他（医学書院）
- 3) 疾病の成り立ちと回復の促進(4)：臨床栄養学 第6版 関戸啓子（メディカ出版）

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前に教科書の該当する部分を学習、事後学習として講義で学んだことを振り返り自分の考えを整理する。事前・事後学習として計180分程度必要。

第1回の講義の前に、教科書P14,15（栄養サポートチーム：NST）、P114,115,116（栄養ケア・マネジメント：NCM）を読んでから参加する。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

提出されたレポートについては、講義の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

レポートの内容は授業内容にも反映されるため提出期限を厳守すること。

12 オフィスアワー等

質問は、授業後に受け付けます。

第2学年

臨床栄養学

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月09日(水)	4	講義	病院における栄養管理システムと栄養に関わるチーム医療(NSTなど)	レポート		櫻井非常勤講師
前	2	4月16日(水)	4	講義	栄養素・食事と食品			櫻井非常勤講師
前	3	4月23日(水)	4	講義	栄養ケア・マネジメント			櫻井非常勤講師
前	4	4月30日(水)	4	講義	ライフステージと栄養			櫻井非常勤講師
前	5	5月14日(水)	4	講義	病態別食事療法1			櫻井非常勤講師
前	6	5月14日(水)	5	講義	病態別食事療法2	レポート		櫻井非常勤講師
前	7	5月21日(水)	4	講義	生活の場での食支援と多職種連携			櫻井非常勤講師
前	8(0.5)	5月28日(水)	4	講義	臨床栄養学まとめ2回目のレポートを基にプレゼンテーション			櫻井非常勤講師